



いつもの仲間に会えるから楽しい
懐かしい縁側で井戸端会議「みすずいこいの部屋」

団地内の公民館を利用して、高齢者が気軽に立ち寄れる場所を開いている。「みすずいこいの部屋」には、毎回、多くの高齢者が訪れ、お茶を飲みながら話をしたり、折り紙や手芸等の小物づくり、健康麻雀などを楽しんでいる。

部屋の開閉や飲み物の準備は、地域のボランティアスタッフが当番で担当している。

- 内 容 高齢者の集いの場「みすずいこいの部屋」
 - ・ 団らん
 - ・ 地域の人のお話を聞く等の行事
 - ・ 健康麻雀 等
- 実 施 日 週2日（水、金）
- 場 所 美鈴が丘公民館
（佐伯区美鈴が丘南3丁目）
- 利 用 者 約30人
- 開始時期 平成20年9月
- 実施主体 美鈴が丘地区社会福祉協議会



取組のステップ



高齢者が集う場があれば

団地には、老人いきいの家のように高齢者が気軽に集まって活動する場所がない。団地の中心にあるスーパーや銀行に行った帰りに、ひと休みできる場所がほしいとの声が多かった。

そこで、社会福祉協議会が町内会等と協議を重ね、公民館の1階の和室を借りて、集いの場にするようになった。



「みすずいきいの部屋」で居場所づくり

集いの場は「みすずいきいの部屋」と名付け、週2日、午前10時から午後3時30分まで開いている。

高齢者が気軽に集まって、折り紙・手芸等の小物づくりや地域の人を講師に話を聞いたり、健康麻雀などを行っている。出入り自由で、部屋にはコーヒーやお茶などの飲み物も置いている。「ここに来れば、知り合いに会える」、「人と話ができて楽しい」と、多くの高齢者が訪れる。また、部屋の開閉や飲み物の準備は、地域のボランティアスタッフが当番で担当している。



工夫していること等

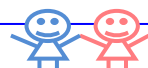
椅子を置いて利用しやすく

公民館に依頼して畳の部屋に絨毯を敷き、椅子席も使えるようにした。

課題・今後の展開

- ・ 何時でも誰でも利用できる場所として利用日を増やす。
- ・ 男性の参加者を増やす。

みんなの声



〈住民〉

- ・ ひとりでいると淋しいけれど、ここに来れば人と会えて楽しい。お世話してくださる方に感謝している。

〈主催者〉

- ・ 2か月毎に委員会を開き、利用状況を確認。皆が利用しやすいものにしたい。